

【ハイパーターミナルによるデータ転送】 (M-1940 の場合)

1. 概要

WINDOWS 95 のハイパーターミナルを使用して M-1940 をパソコンと接続し、リモートモードでの動作を可能とします。デバイスの動作範囲を指定しなければならない場合や、データ転送する場合に、リモートソフト「PPC-WIN、XPROM」等をお持ちでない場合に使用します。

2. パソコンとM-1940 の接続

RS-232C ケーブル (ストレート) で接続してください。

3. M-1940 側の設定

通信条件の設定 (ボーレート等...)

「MODE」キーを押し「System Config」を [] キーで選択後、「ENT」を押し [RS Config] を [] キーで選択後「ENT」を押します。ボーレート等それぞれ「ENT」にて [] が移動させ [] キーにて通信条件を設定します。最後に「START」を押すとこの設定が保存されます。また、この設定は電源を切っても有効です。

転送フォーマットの設定

「MODE」キーを押し「System Config」を [] キーで選択後、「ENT」を押します。「Data Format」を [] キーで選択後「ENT」を押し設定します。 [] キーにてフォーマットを設定します。最後に「START」を押すとこの設定が保存されます。また、この設定は電源を切っても有効です。

4. パソコン側の操作

パソコンを立ち上げ WINDOWS 95 のハイパーターミナルを起動する。

新しい接続のダイアログが出るので、名前を入力しアイコンを選ぶ。(ここは新しい接続時の設定をキャンセルし、ターミナル画面の状態、メニュー内の「ファイル」の「プロパティ」をクリックしても結構です)

電話番号のダイアログが出たら、「COM1 ヘダイレクト」に設定して通信条件をロムライターと合わせ OK をクリックします。

キーボードから「Ctrl」を押しながら「E」を2回押して下さい。(入力はずべて大文字)

ロムライターの液晶表示が「REMOTE MODE」となり、パソコン画面上に「#」マークが表示されます。(この状態にならない時は、通信条件が合っていないかケーブルに問題があることが考えられます)

上記のような状態になっていれば、パソコンがロムライターのターミナルとして動作していますので、「#」マークに続けてコマンドをキー入力していただければリモートで操作が可能です。コマンドの内容については「#」のあとに「H」「リターン」によりヘルプが表示されますので参考にしてください。

【ハイパーターミナルによるデータ転送】 (M-1940 の場合)

5. パソコンからロムライターへのデータのダウンロード

「RL」と入力し「リターン」

(ロムライターの表示が「REMOTE MODE」のままですがデータフォーマットの入力待ち状態となります。

ハイパーターミナルのメニューの「転送」の中の「テキストファイルの送信」をクリックし、ダウンロードしたいファイルを選択し「開く」をクリック。するとダウンロードが開始されます。

正常にダウンロードが終了すると、パソコンの画面上に「#」のみ表示されますのでこれで完了です。

以上